

**第2回 和気町バリアフリー推進協議会
議事要旨**

1. 日時

令和5年11月24日（金）10:00～11:30

2. 場所

和気町役場 2階 大会議室

3. 委員

下表のとおり

No.	所属	肩書
1	和気町	町長
2	和気商工会	会長
3	I P U環太平洋大学	次世代教育学部 教育経営学科 教授
4	和気町老人クラブ連合会	会長
5	和気町身体障害者福祉協会	会長
6	もみじの会 和気町精神障がい者家族会	
7	公益社団法人 岡山県聴覚障害者福祉協会	事務局長
8	和気町手をつなぐ親の会	会長
9	和気郡PTA連合会	会長
10	西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社 地域交通課	課長
11	一般社団法人岡山県タクシー協会	専務理事
12	岡山県備前警察署 交通課	交通課長
13	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局	首席運輸企画専門官
14	岡山県 備前県民局 東備地域事務所	地域建設部長
15	和気町 教育委員会	教育長
16	和気町 危機管理室	室長
17	和気町 健康福祉課	課長
18	和気町 都市建設課	課長

4. 事務局

和気町 都市建設課：課長補佐、主事、係長

5. 委託事業者

八千代エンジニアリング株式会社

6. 委員会資料

委員名簿

協議会設置要綱

資料1：まち歩き点検ワークショップ結果概要

資料2：和気町バリアフリー基本構想（素案）

資料3：今後の進め方とスケジュール

7. 議事の概要

1 開会

和気町都市建設課長より開会の挨拶を行った。

また、和気町都市建設課 課長補佐より次第の説明及び資料確認を行った。

2 議事

（1）まち歩き点検ワークショップの結果報告

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

- ・ 資料1 まち歩き点検ワークショップ結果報告

（2）和気町バリアフリー基本構想（素案）の確認

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

- ・ 資料2 和気町バリアフリー基本構想（素案）

委 員： 事務局より前回協議会時から重点整備地区を拡大したとの説明があったが、重点整備地区に設定することにより、より重点的かつ一体的に事業を実施する方針としたとの理解で良いか。

事 務 局： ご理解のとおり、特定事業の実施が特に必要である地区として重点整備地区を設定しているため、より重点的な事業実施を想定している。

委 員： 第1回協議会時と比較してどのように変わったか確認したい。

事 務 局： 第1回協議会時は、JR 和気駅周辺の一部のエリアのみを重点整備地区としていたが、今回は第1回協議会時に促進地区としていたエリアまで拡大している。

委 員： 他に意見がないようであれば、協議会として重点整備地区の変更を了承するものとしたいが問題ないか。

一 同： 異議なし。

事 務 局： 基本構想(素案)に示した重点整備地区にて今後の検討を進めさせていただく。

委 員： 公共交通に関する課題として、バスやタクシー等の乗降場所から旅客施設までの連続性確保が重要であると考えます。上記について、基本構想（素案）P.33「4-4

生活関連施設・生活関連経路の移動円滑化に関する方針」に町としての方針を明示した方が良いと考える。

事務局： 本町としての方針を検討の上、基本構想（素案）に反映する。

委員： 基本構想（素案）P.5「1-4（1）本構想の位置づけ」について、「和気町地域公共交通網形成計画」は、令和4年度までが計画期間となっており、令和5年度に改訂予定と認識しているが、本構想との関連性についてどのように考えているか確認したい。

また、基本構想（素案）P.11「2-3 公共交通」について、町営バスやタクシーの利用状況やバリアフリー化の状況についても掲載した方が良いと考える。

事務局： 地域公共交通網形成計画は、令和5年度に策定予定の改訂版の計画と整合を図ることがわかるように修正する。

町営バスの利用者数は、令和元年度で約30,392人となっている。タクシーの利用状況については庁内で確認する必要があるが、いずれも基本構想（素案）への反映を検討する。

町営バス・タクシーの乗降場所に関する方針については、庁内で協議の上、基本構想（素案）への反映を検討する。

委員： 基本構想（素案）P.4「1-3 バリアフリー基本構想の概要」について、「バリアフリー基本構想に明示すべき事項」の一部を「任意記載事項」としているが、任意事項を設定している理由についてお聞きしたい。

事務局： 「バリアフリー基本構想に明示すべき事項」は、バリアフリー法に明記されている内容であり、本町が独自に設定したものではない。基本構想（素案）は、必須事項とされている項目について網羅する形で作成している。

委員： 基本構想（素案）P.23「3-2 基本方針」について、バリアフリーに関する啓発活動は、障害者福祉週間やイベント等の限られた期間のみの取り組みだけでなく、国土交通省の啓発ポスターを設置する等、通年で実施できる取り組みについても位置付けた方が良いと考える。

また、小・中学校だけでなく、JR和気駅の利用頻度が特に高いと考えられる高校生向けの取り組みについても実施することとした方が良いと考える。

事務局： 障害者福祉週間は長期的に実施しているものではないため、他のイベントとの連携や旅客施設・公共施設等へのポスター掲示についても検討する。

現在、県立和気閑谷高等学校では、和気町地域おこし協力隊が支援活動等を行っている。和気町地域おこし協力隊とも相談の上、方針を検討したい。

委員： 町外の特別支援学校へ通う生徒もJR和気駅を利用しているため、こうした生徒への配慮も必要と考える。

委員： 公共施設や店舗における盲導犬や補助犬への対応状況について確認したい。

委員： 現時点で把握できていないため、確認でき次第、お知らせしたい。

また、障害者福祉週間以外にも、各種イベント等の人が集まる機会において情報発信等の活動を行っていきたい。

委員： 特定事業等を基本構想に掲載する際には、事業主体となる施設設置管理者との協議が必要となる。特定事業の事業主体に係る協議会委員の皆様には、現時点の基本構想（素案）をもとに2週間程度を目安に記載内容について確認・調整いただきたい。また、本日参加していない事業主体についても、2週間以内を目安に事務局主導で調整を進めていただきたい。

事務局： ご提案いただいたスケジュールで進めていく。

委員： 生活関連施設であるイオンタウン和気を運営するイオンタウン株式会社は、本協議会の構成員に含まれていないが、別途協議を行う予定との理解で良いか。

事務局： 本協議会とは別に協議を行う予定である。

委員： 現時点での協議の状況や体制についてお聞きしたい。

事務局： まち歩き点検ワークショップを実施する際に施設内に立ち入る予定である旨の説明は行ったが、特定事業等に関する具体的な協議は今後実施予定である。

委員： 基本構想（素案）では「障害」という字を使っているが、「障がい」という表現に変更してはどうか。

事務局： 国としての明確な基準等はないため、庁内で方針を確認した上で反映を検討させていただく。

（３） 今後の進め方とスケジュール

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

- ・ 資料３ 今後の進め方とスケジュール

委員： 第３回協議会では、パブリックコメントの結果とパブリックコメントの結果を反映した基本構想（案）を事前に共有していただいた方が良いと考える。

事務局： 承知した。

委員： 第３回協議会の候補日について、事務局から提案はあるか。

事務局： 第３回協議会は、２月５日（月）～９日（金）での開催を想定している。現時点で出席が困難な日がある場合は、協議会終了後に事務局に共有いただきたい。

委員： 事務局より、１２月下旬から１月上旬にかけて基本構想（案）に関するパブリックコメントを実施する旨の説明があったが、本日の協議会で挙げられた意見等の反映については、事務局に一任することで良いか。

一 同： 異議なし。

（４） その他

事務局より、協議会設置要綱の変更（第９条の追加）について説明を行い、承認を得た。

３ 閉会

事務局より閉会の挨拶を行った。